

3. 後作物残留に係る調査結果

3-1 調査概要

1) 調査目的

土壌残留に伴う後作物残留評価法の確立に資するため、後作物残留調査に供すべき代表作物を比較検討するとともに、土壌残留濃度が相当低下した場合における後作物への残留影響を調査した。

2) 対象農薬及び供試作物

各実施機関が調査対象とする農薬及び供試作物は表 3-1 に示すとおりである。

対象農薬について、粒剤を選択した場合は早期作付け時期の14日前に所定量を均一に処理し軽く土壌混和するものとし、散布剤を選択した場合は早期作付け時期の7日前を最終散布として所定回数（約7日間隔）を均一に散布するものとした。

また、供試作物については「葉菜類」又は「根菜類」のいずれかを選択して実施するものとした。

「葉菜類」の場合は、これまでの本調査事業において検出されやすい傾向が示されている「こまつな」、「しゅんぎく」、「ほうれんそう」の中から2作物、並びにこれら以外に検出されやすいと考えられる任意の葉菜類（小ねぎ等）を1作物選定し、合計3作物を供試するものとし、適当な作物が選定できない場合はこまつな、しゅんぎく、ほうれんそうの3作物を供試するものとした。

「根菜類」の場合は、これまでの本調査事業において検出されやすい傾向が示されている「かぶ」、これ以外に検出されやすいと考えられる任意の根菜類（にんじん等）を1作物以上選定し、合計2作物以上を供試するものとし、かぶについては葉部と根部を調査対象とした。

3) 試験区

土性（種別）及び農薬使用履歴が明らかな裸地圃場を用いた（前作は栽培しない）。施設・露地の別は問わず、試験区は無処理区と処理区とし、処理区はさらに2つの作付け区（早期作付け区・遅延作付け区）を設けた。各試験区は継時的な土壌残留調査が可能で供試後作物が十分に収穫できる面積とした。

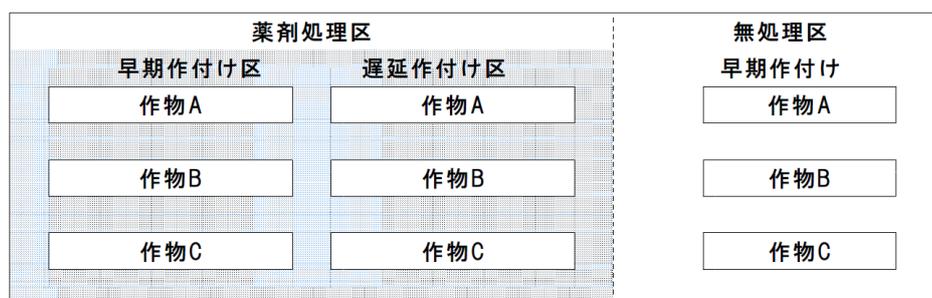


図 3-1 試験区の設定イメージ

表 3-1 調査実施機関と対象農薬

実施機関	対象農薬	剤型	供試作物
宮城県農業・園芸総合研究所	アセタミプリド	粒剤	ハウレンソウ コマツナ
	ジノテフラン	粒剤	ミズナ
栃木県農業試験場	フルトラニル	フロアブル	シュンギク ミズナ
	ホスチアゼート	粒剤	ハウレンソウ
埼玉県農林総合研究センター	アセタミプリド	粒剤	コマツナ ハウレンソウ
	メタラキシル	粒剤	シュンギク
千葉県農林総合研究センター	トルクロホスメチル	水和剤	ハツカダイコン コカブ
	ホスチアゼート	粒剤	
東京都農林総合研究センター	アセタミプリド	粒剤	ダイコン カブ
	メタラキシル	粒剤	
長野県農業試験場	アセタミプリド	粒剤	リーフレタス ハウレンソウ
	プロシミドン	水和剤	コマツナ
岐阜県農業技術センター	クロチアニジン	粒剤	ハウレンソウ カブ
	ジノテフラン	粒剤	ダイコン
京都府農林水産技術センター	アセタミプリド	粒剤	カブ ニンジン
	ジノテフラン	粒剤	
大阪府環境農林水産総合研究所	アセタミプリド	粒剤	コマツナ シロナ
	ジノテフラン	粒剤	シュンギク
兵庫県立農林水産技術総合センター	クロチアニジン	粒剤	コマツナ シュンギク
	ホスチアゼート	粒剤	チンゲンサイ
奈良県農業総合センター	アセタミプリド	粒剤	コマツナ ハウレンソウ
	クロチアニジン	粒剤	コネギ
山口県農林総合技術センター	アセタミプリド	水溶剤	ハウレンソウ コマツナ
	クロチアニジン	水溶剤	リーフレタス
徳島県立農林水産総合技術支援センター農業研究所	クロチアニジン	粒剤	ハウレンソウ コマツナ
	チアメトキサム	粒剤	チンゲンサイ
香川県農業試験場	アセタミプリド	水溶剤	コマツナ チンゲンサイ
	ジノテフラン	顆粒水溶剤	ハウレンソウ
	ミクロブタニル	水和剤	
高知県農業技術センター	ジノテフラン	顆粒水溶剤 粒剤	カブ ニンジン コマツナ
熊本県農業研究センター	アセタミプリド	水溶剤	ハウレンソウ コマツナ
	プロシミドン	水和剤	コネギ

4) 調査方法

(1) 農薬の処理と後作物の作付け

試験圃場を十分耕起してならした後に供試農薬を所定条件で薬剤処理区に処理し、試験区内に均一に処理するよう特に留意した。粒剤の場合は原則として作付け予定区域のみに処理し（通路部分はずす）軽く土壌混和した。

早期作付け区及び無処理区は、最終処理7日後（粒剤にあつては処理14日後）には種（又は定植）を行った。遅延作付け区は土壌中濃度が相当低下したことが確認された日数経過後には種（又は定植）した（注）。作付方法は栽培慣行に従い、作付け前には十分に耕うんを行った。

注：土壌中濃度を調査し0.1mg/kg未満となったことを確認したのちには種（又は定植）を行った。ただし最終処理後60日を経過しても十分に低下しない時は、その時点をもって作付けを開始してよいものとした。

(2) 土壌残留濃度の調査

①調査時期

薬剤処理区にあつては、処理前、最終処理直後及び作付け時に調査を行った。これ以外に遅延作付け区にあつては、作付け時まで1回以上調査を行った。無処理区は作付け時に調査を行った。

②調査方法

地表露出部分から地表10cmまでの土壌を、毎回4カ所以上採土管を用いて採取し、ビニル袋等を用いて十分混合し試料とした。前回採取に用いた地点からは採取しないものとした。作付け時にあつては可能であれば地表10～20cmの土壌も採取し試料とした（地表10cmまでの土壌とは別途分析）。

採取土壌は土塊をつぶして篩いにかけて分析に供した。土壌残留濃度は乾土当たりのmg/kgで表示し、定量限界は原則として0.01mg/kgとした。やむを得ず保存した後に分析する場合は-20℃で冷凍し、保存安定性試験を行った。

(3) 作物残留濃度の調査

残留基準に定める可食部を各区から十分量（1kgかつ5個体以上）採取し、対象農薬の分析を行った。試料に土壌が付着している時は、はけ等を用いて除去するか、又は付着が著しい時はゆるやかな流水下で柔らかいブラシで軽くこすり落とした。

(4) 後作物作付け実態に関する情報調査

供試した各後作物について、都道府県内における代表的な作付体系・方法に関する情報を収集・整理した。

3-2 平成 23 年度調査のまとめ

後作物残留に係る調査での対象農薬の検出濃度は表 3-2～表 3-11 に示すとおりであり、収穫時の後作物の残留濃度が残留基準値を超過する事例が 1 件認められた。

表 3-2 今年度調査結果の概要（アセタミプリド）

アセタミプリドの検出状況							
調査実施都道府県	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・処理量	供試作物	試験区	収穫時の最終農薬処理後経過日数	作付け時 土壌濃度 (mg/kg)	残留濃度 (mg/kg)	残留基準値 (mg/kg)
熊本県 農業研究 センター	モスピラン水和剤 (20%) 2,000 倍 300L/10a	ホウレンソウ	処理区-早期作付	40	上 0.27 下 0.67	<0.01(n.d.)	3
			処理区-遅延作付	63	上 0.09 下 0.07	<0.01(n.d.)	
		コマツナ	処理区-早期作付	40	上 0.27 下 0.67	<0.01(n.d.)	5
			処理区-遅延作付	55	上 0.09 下 0.07	<0.01(n.d.)	
		コネギ*	処理区-早期作付	80	上 0.27 下 0.67	<0.01(n.d.)	4.5
			処理区-遅延作付	104	上 0.09 下 0.07	<0.01(n.d.)	
香川県農 業試験場	モスピラン水和剤 (20%) 2,000 倍 300L/10a	コマツナ	処理区-早期作付	32	0.03	<0.01(0.002)	5
			処理区-遅延作付	92	<0.01(0.001)	<0.01	
		チンゲンサイ	処理区-早期作付	37	0.03	<0.01(n.d.)	5
			処理区-遅延作付	98	<0.01(0.001)	<0.01(n.d.)	
		ホウレンソウ	処理区-早期作付	42	0.03	<0.01(n.d.)	3
			処理区-遅延作付	108	<0.01(0.001)	<0.01(n.d.)	
山口県農 林総合技 術センター	モスピラン水溶剤 (20%) 2,000 倍 300L/10a	ホウレンソウ	処理区-早期作付	43	上 0.48 下 0.15	<0.01(n.d.)	3
			処理区-遅延作付	137	上 <0.01(n.d.) 下 <0.01(n.d.)	<0.01(n.d.)	
		コマツナ	処理区-早期作付	43	上 0.48 下 0.15	<0.01(n.d.)	5
			処理区-遅延作付	137	上 <0.01(n.d.) 下 <0.01(n.d.)	<0.01(n.d.)	
		リーフレタス	処理区-早期作付	43	上 0.48 下 0.15	<0.01(n.d.)	5
			処理区-遅延作付	137	上 <0.01(n.d.) 下 <0.01(n.d.)	<0.01(n.d.)	
奈良県 農業総合 センター	モスピラン粒剤 (2%) 6kg/10a	コマツナ	処理区-早期作付	43	上 0.04 下 <0.01 (0.002)	<0.01(n.d.)	5
			処理区-遅延作付	97	上 <0.01(n.d.) 下 <0.01(n.d.)	<0.01(n.d.)	
		ホウレンソウ	処理区-早期作付	76	上 0.04 下 <0.01 (0.002)	<0.01(n.d.)	3
			処理区-遅延作付	152	上 <0.01(n.d.) 下 <0.01(n.d.)	<0.01(n.d.)	
		コネギ*	処理区-早期作付	110	上 0.04 下 <0.01 (0.002)	<0.01(n.d.)	4.5
			処理区-遅延作付	159	上 <0.01(n.d.) 下 <0.01(n.d.)	<0.01(n.d.)	
大阪府	モスピラン粒剤	コマツナ	処理区-早期作付	42	0.76	0.78	5

アセタミプリドの検出状況							
調査実施都道府県	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・処理量	供試作物	試験区	収穫時の最終農薬処理後経過日数	作付け時 土壌濃度 (mg/kg)	残留濃度 (mg/kg)	残留基準値 (mg/kg)
環境農林水産総合研究所	(2%) 6kg/10a	シロナ	処理区-遅延作付	89	<0.01	<0.05	5
			処理区-早期作付	42	0.76	0.25	
		シュンキク	処理区-遅延作付	89	<0.01	<0.05	5
			処理区-早期作付	51	0.76	0.36	
			処理区-遅延作付	105	<0.01	<0.05	
京都府農林水産技術センター	モスピラン粒剤 (2%) 6kg/10a	小カブ(根)	処理区-早期作付	56	上 1.67 下 0.04	<0.01 (n.d.)	根 0.1 葉 5
			処理区-遅延作付	133	上 0.49 下 <0.01	<0.01 (n.d.)	
		小カブ(葉)	処理区-早期作付	56	上 1.67 下 0.04	<0.01 (n.d.)	
			処理区-遅延作付	133	上 0.49 下 <0.01	<0.01 (n.d.)	
		ニンジン	処理区-早期作付	125	上 1.67 下 0.04	<0.01 (n.d.)	-
			処理区-遅延作付	213	上 0.49 下 <0.01	<0.01 (n.d.)	
長野県農業試験場	モスピラン粒剤 (2%) 6kg/10a	ホウレンソウ	処理区-早期作付	56	上 0.19 下 0.08	<0.01(n.d.)	3
			処理区-遅延作付	125		<0.01(n.d.)	
		コマツナ	処理区-早期作付	40	上 0.03 下 0.03	<0.01(n.d.)	5
			処理区-遅延作付	125		<0.01(n.d.)	
		リーフレタス	処理区-早期作付	55	上 0.14 下 0.03	<0.01(n.d.)	5
処理区-遅延作付	117			<0.01(n.d.)			
東京都農林総合研究センター	モスピラン粒剤 (2%) 6kg/10a	ダイコン	処理区-早期作付	71	0.21	<0.01(n.d.)	根 0.2
			処理区-遅延作付	122	0.09	<0.01(n.d.)	
		カブ(根)	処理区-早期作付	57	0.31	<0.01(n.d.)	根 0.2 葉 5
			処理区-遅延作付	98	0.04	<0.01(n.d.)	
		カブ(葉)	処理区-早期作付	57	0.31	0.01	
処理区-遅延作付	98		0.04	<0.01(n.d.)			
埼玉県農林総合研究センター	モスピラン粒剤 (3%) 6kg/10a	コマツナ	処理区-早期作付	14	0.239	<0.005(n.d.)	5
			処理区-遅延作付	60	0.012	<0.005(n.d.)	
		ホウレンソウ	処理区-早期作付	14	0.239	<0.005(n.d.)	3
			処理区-遅延作付	60	0.012	<0.005(n.d.)	
		シュンキク	処理区-早期作付	14	0.239	<0.005(n.d.)	5
処理区-遅延作付	60		0.012	<0.005(n.d.)			
宮城県農業・園芸総合研究所	モスピラン粒剤 (2%) 6kg/10a	コマツナ	処理区-早期作付	42	0.99	0.04	5
			処理区-遅延作付	62	0.71	<0.01	
		ミズナ	処理区-早期作付	43	0.99	0.08	5
			処理区-遅延作付	78	0.71	0.01	
		ホウレンソウ	処理区-早期作付	52	0.99	<0.01	3
			処理区-遅延作付	78	0.71	<0.01	

※ 作付け時土壌濃度について、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。

※ 作付け時土壌濃度及び残留濃度の()内の数値は、定量下限以下の参考値を示す。

表 3-3 今年度調査結果の概要（クロチアニジン）

クロチアニジンの検出状況							
調査実施都道府県	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・処理量	供試作物	試験区	収穫時の最終農薬処理後経過日数	作付け時土壌濃度(mg/kg)	残留濃度(mg/kg)	残留基準値(mg/kg)
徳島県立農林水産総合技術支援センター農業研究所	ダントツ粒剤(0.5%) 6kg/10a	ホウレンソウ	処理区-早期作付	58	上 0.13 下 0.09	0.04	3
			処理区-遅延作付	90	上 0.08 下 0.09	<0.02(0.01)	
		コマツナ	処理区-早期作付	43	上 0.13 下 0.09	<0.02(0.01)	1
			処理区-遅延作付	83	上 0.08 下 0.09	<0.02(0.01)	
		チンゲンサイ	処理区-早期作付	58	上 0.13 下 0.09	<0.02(0.008)	5
			処理区-遅延作付	86	上 0.08 下 0.09	<0.02(n.d.)	
山口県農林総合技術センター	ダントツ水溶剤(16%) 2,000倍 300L/10a	ホウレンソウ	処理区-早期作付	43	上 0.70 下 0.12	0.24	3
			処理区-遅延作付	137	上 0.27 下 0.11	0.09	
		コマツナ	処理区-早期作付	43	上 0.70 下 0.12	0.13	1
			処理区-遅延作付	137	上 0.27 下 0.11	0.06	
		リーフレタス	処理区-早期作付	43	上 0.70 下 0.12	0.09	20
			処理区-遅延作付	137	上 0.27 下 0.11	0.03	
奈良県農業総合センター	ダントツ粒剤(0.5%) 6kg/10a	コマツナ	処理区-早期作付	43	上 0.09 下 0.01	<0.01(0.003)	1
			処理区-遅延作付	97	上 0.06 下 0.04	<0.01(n.d.)	
		ホウレンソウ	処理区-早期作付	76	上 0.09 下 0.01	<0.01(n.d.)	3
			処理区-遅延作付	152	上 0.06 下 0.04	<0.01(n.d.)	
		コネギ	処理区-早期作付	110	上 0.09 下 0.01	<0.01(n.d.)	0.7
			処理区-遅延作付	159	上 0.06 下 0.04	<0.01(n.d.)	
兵庫県立農林水産技術総合センター	ダントツ粒剤(0.5%) 6kg/10a	チンゲンサイ	処理区-早期作付	39	上 0.11 下 0.02	0.01	5
			処理区-遅延作付	87	上 0.10 下 0.02	0.01	
		コマツナ	処理区-早期作付	43	上 0.15 下 0.02	<0.01(0.006)	1
			処理区-遅延作付	101	上 0.10 下 <0.01(0.003)	<0.01(0.008)	
		シュンギク	処理区-早期作付	39	上 0.2 下 0.01	<0.01(0.007)	0.2
			処理区-遅延作付	87	上 0.08 下 <0.01(0.002)	<0.01(0.009)	
岐阜県農業技術センター	ダントツ粒剤(0.5%) 6kg/10a	ホウレンソウ	処理区-早期作付	49	上 0.10 下 0.13	0.06	3
			処理区-遅延作付	78	上 0.04 下 0.04	0.02	
		カブ(葉)	処理区-早期作付	63	上 0.10 下 0.13	0.02	根 0.02 葉 0.02
			処理区-遅延作付	93	上 0.04 下 0.04	<0.01	
		カブ(根)	処理区-早期作付	63	上 0.10 下 0.13	<0.01	
			処理区-遅延作付	93	上 0.04 下 0.04	<0.01	

クロチアニジンの検出状況							
調査実施 都道府県	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・処理量	供試作物	試験区	収穫時の 最終農薬 処理後 経過日数	作付け時 土壌濃度 (mg/kg)	残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
		ダイコン(葉)	処理区-早期作付	77	上 0.10 下 0.13	<0.01	根 0.1 葉 5
			処理区-遅延作付	105	上 0.04 下 0.04	<0.01	
		ダイコン(根)	処理区-早期作付	77	上 0.10 下 0.13	<0.01	
			処理区-遅延作付	105	上 0.04 下 0.04	<0.01	

※ 作付け時土壌濃度について、上：上層(0～10cm)、下：下層(10～20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0～10cm)を示す。

※ 作付け時土壌濃度及び残留濃度の()内の数値は、定量下限以下の参考値を示す。

表 3-4 今年度調査結果の概要 (ジノテフラン)

ジノテフランの検出状況							
調査実施 都道府県	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・処理量	供試作物	試験区	収穫時の 最終農薬 処理後 経過日数	作付け時 土壌濃度 (mg/kg)	残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
高知県 農業技術 センター	スタークル顆粒水溶 剤 (20%) 2,000 倍 300L/10a	カブ(葉)	処理区-早期作付	49	上 0.21 下 0.26	0.02	根 0.5 葉 5
			処理区-遅延作付	85	上 0.03 下 0.06	<0.01(0.008)	
		カブ(根)	処理区-早期作付	49	上 0.21 下 0.26	<0.01(0.006)	
			処理区-遅延作付	85	上 0.03 下 0.06	<0.01(0.001)	
		ニンジン(葉)	処理区-早期作付	78	上 0.21 下 0.26	0.02	根 0.7 葉 5
			処理区-遅延作付	118	上 0.03 下 0.06	0.01	
		ニンジン(根)	処理区-早期作付	78	上 0.21 下 0.26	<0.01(0.004)	
			処理区-遅延作付	118	上 0.03 下 0.06	<0.01(0.003)	
コマツナ	処理区-早期作付	34	上 0.21 下 0.26	0.04	5		
	処理区-遅延作付	67	上 0.03 下 0.06	<0.01(0.006)			
高知県 農業技術 センター	スタークル粒剤 (1%) 6kg/10a	カブ(葉)	処理区-早期作付	56	上 0.25 下 0.28	0.05	根 0.5 葉 5
			処理区-遅延作付	92	上 0.06 下 0.14	0.01	
		カブ(根)	処理区-早期作付	56	上 0.25 下 0.28	0.01	
			処理区-遅延作付	92	上 0.06 下 0.14	<0.01(0.005)	
		ニンジン(葉)	処理区-早期作付	85	上 0.25 下 0.28	0.03	根 0.7 葉 5
			処理区-遅延作付	125	上 0.06 下 0.14	0.02	
		ニンジン(根)	処理区-早期作付	85	上 0.25 下 0.28	<0.01(0.006)	
			処理区-遅延作付	125	上 0.06 下 0.14	<0.01(0.004)	
コマツナ	処理区-早期作付	41	上 0.25 下 0.28	0.06	5		
	処理区-遅延作付	74	上 0.06	<0.01(0.007)			

ジノテフランの検出状況							
調査実施 都道府県	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・処理量	供試作物	試験区	収穫時の 最終農薬 処理後 経過日数	作付け時 土壌濃度 (mg/kg)	残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
					下 0.14		
香川県農 業試験場	アルハリン顆粒水 和剤(20%) 2,000倍 300L/10a	コマツナ	処理区-早期作付	32	0.16	0.18	5
			処理区-遅延作付	92	<0.01(0.003)	0.02	
		チンゲンサイ	処理区-早期作付	37	0.16	0.12	10
			処理区-遅延作付	98	<0.01(0.003)	0.01	
		ホウレンソウ	処理区-早期作付	42	0.16	0.08	15
			処理区-遅延作付	108	<0.01(0.003)	<0.01(0.004)	
大阪府 環境農林 水産総合 研究所	アルハリン粒剤 (1%) 6kg/10a	コマツナ	処理区-早期作付	42	0.51	0.14	5
			処理区-遅延作付	89	<0.01	<0.05	
		シロナ	処理区-早期作付	42	0.51	<0.05	5
			処理区-遅延作付	89	<0.01	<0.05	
		ショウキク	処理区-早期作付	51	0.51	0.11	20
			処理区-遅延作付	105	<0.01	<0.05	
京都府農 林水産技 術センター	スタークル粒剤 (1%) 6kg/10a	小カブ(根)	処理区-早期作付	56	上 0.59 下 0.09	<0.01(0.008)	根 0.5 葉 5
			処理区-遅延作付	133	上 0.36 下 0.01,<0.01 (0.007)	<0.01(0.007)	
		小カブ(葉)	処理区-早期作付	56	上 0.59 下 0.09	0.05	根 0.5 葉 5
			処理区-遅延作付	133	上 0.36 下 0.01,<0.01 (0.007)	0.02	
		ニンジン	処理区-早期作付	125	上 0.59 下 0.09	0.01, <0.01	0.7
			処理区-遅延作付	213	上 0.36 下 0.01,<0.01 (0.007)	<0.01	
岐阜県 農業技術 センター	スタークル粒剤 (1%) 6kg/10a	ホウレンソウ	処理区-早期作付	49	上 0.08 下 0.07	0.12	15
			処理区-遅延作付	78	上 0.04 下 0.04	0.03	
		カブ(葉)	処理区-早期作付	63	上 0.08 下 0.07	0.06	根 0.5 葉 5
			処理区-遅延作付	93	上 0.04 下 0.04	0.02	
		カブ(根)	処理区-早期作付	63	上 0.08 下 0.07	0.01, <0.01	根 0.5 葉 5
			処理区-遅延作付	93	上 0.04 下 0.04	<0.01	
		ダイコン(葉)	処理区-早期作付	77	上 0.08 下 0.07	0.03	根 0.5 葉 3
			処理区-遅延作付	105	上 0.04 下 0.04	0.02	
		ダイコン(根)	処理区-早期作付	77	上 0.08 下 0.07	0.01	根 0.5 葉 3
			処理区-遅延作付	105	上 0.04 下 0.04	<0.01	
宮城県農 業・園芸総 合研究所	スタークル粒剤 (1%) 6kg/10a	コマツナ	処理区-早期作付	42	0.24	<0.02	5
			処理区-遅延作付	62	0.27	<0.02	
		ミズナ	処理区-早期作付	43	0.24	0.03	5
			処理区-遅延作付	78	0.27	0.03	
		ホウレンソウ	処理区-早期作付	52	0.24	<0.02	15
			処理区-遅延作付	78	0.27	<0.02	

※ 作付け時土壌濃度について、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。

※ 作付け時土壌濃度及び残留濃度の()内の数値は、定量下限以下の参考値を示す。

表 3-5 今年度調査結果の概要（チアメトキサム）

チアメトキサムの検出状況							
調査実施都道府県	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・処理量	供試作物	試験区	収穫時の最終農薬処理後経過日数	作付け時 土壌濃度 (mg/kg)	残留濃度 (mg/kg)	残留基準値 (mg/kg)
徳島県立農林水産総合技術支援センター農業研究所	アクトラ粒剤 5 (0.5%) 6kg/10a	ホウレンソウ	処理区-早期作付	58	上 0.14 下 0.07	<0.02(0.01)	10
			処理区-遅延作付	90	上 0.03 下 0.03	<0.02(n.d.)	
		コマツナ	処理区-早期作付	43	上 0.14 下 0.07	0.06	5
			処理区-遅延作付	83	上 0.03 下 0.03	<0.02(0.01)	
		チンゲンサイ	処理区-早期作付	43	上 0.14 下 0.07	<0.02(0.01)	5
			処理区-遅延作付	83	上 0.03 下 0.03	<0.02(0.01)	

※ 作付け時土壌濃度について、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。

※ 作付け時土壌濃度及び残留濃度の()内の数値は、定量下限以下の参考値を示す。

表 3-6 今年度調査結果の概要（トルクロホスメチル）

トルクロホスメチルの検出状況								
調査実施都道府県	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・処理量	供試作物	試験区	収穫時の最終農薬処理後経過日数	作付け時 土壌濃度 (mg/kg)	残留濃度 (mg/kg)	残留基準値 (mg/kg)	
千葉県農林総合研究センター	リゾレックス水和剤 (50%) 500倍 3L/m ²	ハツカダ [®] イオン(葉) ほほべに丸	処理区-早期作付相当	40	上 15.2 下 5.80	<0.01 (<0.002)	根 2 葉 2	
			処理区-遅延作付相当	91	上 0.736 下 0.882	<0.01 (<0.002)		
		ハツカダ [®] イオン(根) ほほべに丸	処理区-早期作付相当	40	上 15.2 下 5.80	0.010		
			処理区-遅延作付相当	91	上 0.736 下 0.882	<0.005 (<0.001)		
		コカブ(葉) 夏の雪	処理区-早期作付相当	48	上 15.2 下 5.80	<0.01 (<0.002)	根 2 葉 2	
			処理区-遅延作付相当	102	上 0.736 下 0.882	<0.01 (<0.002)		
			コカブ(根) 夏の雪	処理区-早期作付相当	48	上 15.2 下 5.80		<0.005 (0.004)
				処理区-遅延作付相当	102	上 0.736 下 0.882		<0.005

※ 作付け時土壌濃度について、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。

※ 作付け時土壌濃度及び残留濃度の()内の数値は、定量下限以下の参考値を示す。

表 3-7 今年度調査結果の概要（フルトラニル）

フルトラニルの検出状況							
調査実施 都道府県	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・処理量	供試作物	試験区	収穫時の 最終農薬 処理後 経過日数	作付け時 土壌濃度 (mg/kg)	残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
栃木県農 業試験場	モンカットフロア ブル40 (40%) 1,000 倍 300L/10a	シュンギク	処理区-早期作付	74	上 1.64 下 1.05	0.02	2
			処理区-遅延作付	161	上 1.20 下 1.00	0.05	
		ミズナ	処理区-早期作付	54	上 2.30 下 1.86	<0.01	1
			処理区-遅延作付	161	上 1.74 下 1.21	0.01	
		ホウレンソウ	処理区-早期作付	84	上 2.08 下 1.36	<0.01	2
			処理区-遅延作付	161	上 1.28 下 1.07	0.01	

※ 作付け時土壌濃度について、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。

※ 作付け時土壌濃度及び残留濃度の()内の数値は、定量下限以下の参考値を示す。

表 3-8 今年度調査結果の概要（プロシミドン）

プロシミドンの検出状況							
調査実施 都道府県	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・処理量	供試作物	試験区	収穫時の 最終農薬 処理後 経過日数	作付け時 土壌濃度 (mg/kg)	残留濃度 (mg/kg)	残留 基準値 (mg/kg)
熊本県 農業研究 センター	スミレックス水和剤 (50%) 1,000 倍 300L/10a	ホウレンソウ	処理区-早期作付	40	上 2.00 下 1.90	0.02	5
			処理区-遅延作付	63	上 1.88 下 1.92	<0.01(n.d.)	
		コマツナ	処理区-早期作付	40	上 2.00 下 1.90	0.03	5
			処理区-遅延作付	55	上 1.88 下 1.92	<0.01(n.d.)	
		コネギ	処理区-早期作付	80	上 2.00 下 1.90	0.05	5
			処理区-遅延作付	104	上 1.88 下 1.92	<0.01(n.d.)	
長野県農 業試験場	スミレックス水和剤 (50%) 1,000 倍 300L/10a	ホウレンソウ	処理区-早期作付	56	上 0.36 下 0.27	<0.01(n.d.)	5
			処理区-遅延作付	125		<0.01(n.d.)	
		コマツナ	処理区-早期作付	40	上 0.25 下 0.38	<0.01(n.d.)	5
			処理区-遅延作付	125		0.01	
		リーフレタス	処理区-早期作付	55	上 0.36 下 0.29	<0.01(n.d.)	5
			処理区-遅延作付	117		<0.01(n.d.)	

※ 作付け時土壌濃度について、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。

※ 作付け時土壌濃度及び残留濃度の()内の数値は、定量下限以下の参考値を示す。

表 3-9 今年度調査結果の概要（ホスチアゼート）

ホスチアゼートの検出状況								
調査実施都道府県	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・処理量	供試作物	試験区	収穫時の最終農薬処理後経過日数	作付け時 土壌濃度 (mg/kg)	残留濃度 (mg/kg)	残留基準値 (mg/kg)	
兵庫県立 農林水産 技術総合 センター	ネマトリンエース粒剤 (1.5%) 20kg/10a	チンゲンサイ	処理区-早期作付	39	上 1.61 下 0.10	0.06	0.1	
			処理区-遅延作付	87	上 0.36 下 0.07	<0.01(n.d.)		
		コマツナ	処理区-早期作付	43	上 1.42 下 0.10	0.03	0.1	
			処理区-遅延作付	101	上 0.38 下 <0.01 (0.008)	<0.01(n.d.)		
		シュンギク	処理区-早期作付	39	上 2.34 下 0.10	0.48	0.1	
			処理区-遅延作付	87	上 0.22 下 <0.01 (0.007)	0.01		
千葉県農 林総合研 究センター	ネマトリンエース粒剤 (1.5%) 20kg/10a	ハツカタイコン(葉) ほほべに丸	処理区-早期作付相当	47	上 1.29 下 0.280	0.06	根 0.2 葉 0.2	
			処理区-遅延作付相当	98	上 0.036 下 0.052	<0.01 (0.002)		
		ハツカタイコン(根) ほほべに丸	処理区-早期作付相当	47	上 1.29 下 0.280	0.009		
			処理区-遅延作付相当	98	上 0.036 下 0.052	<0.005 (0.002)		
		コカブ(葉) 夏の雪	CR 白涼	処理区-早期作付相当	55	上 1.29 下 0.280	<0.01 (0.006)	根 0.2 葉 0.1
				処理区-遅延作付相当	109	上 0.036 下 0.052	<0.01 (0.002)	
			夏の雪	処理区-早期作付相当	55	上 1.29 下 0.280	<0.005 (0.002)	
				処理区-遅延作付相当	109	上 0.036 下 0.052	<0.005 (<0.001)	
栃木県農 業試験場	ネマトリンエース粒剤 (1.5%) 20kg/10a	シュンギク	処理区-早期作付	81	上 0.27 下 0.23	0.01	0.1	
			処理区-遅延作付	168	上 0.08 下 0.10	0.02		
		ミズナ	処理区-早期作付	61	上 0.37 下 0.27	<0.01	0.1	
			処理区-遅延作付	168	上 0.06 下 0.07	<0.01		
		ホウレンソウ	処理区-早期作付	91	上 0.35 下 0.41	<0.01	0.1	
			処理区-遅延作付	168	上 0.04 下 0.04	<0.01		

※ 作付け時土壌濃度について、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。

※ 作付け時土壌濃度及び残留濃度の()内の数値は、定量下限以下の参考値を示す。

表 3-10 今年度調査結果の概要（マイクロブタニル）

マイクロブタニルの検出状況							
調査実施都道府県	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・処理量	供試作物	試験区	収穫時の最終農薬処理後経過日数	作付け時 土壌濃度 (mg/kg)	残留濃度 (mg/kg)	残留基準値 (mg/kg)
香川県農業試験場	ラリー水和剤 (10%) 2,000倍 300L/10a	コマツナ	処理区-早期作付	32	0.16	0.01	0.03
			処理区-遅延作付	92	0.10	0.004	
		チンゲンサイ	処理区-早期作付	37	0.16	<0.01(0.002)	1
			処理区-遅延作付	98	0.10	<0.01	
		ホウレンソウ	処理区-早期作付	42	0.16	<0.01	3
			処理区-遅延作付	108	0.10	<0.01	

※ 作付け時土壌濃度について、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。

※ 作付け時土壌濃度及び残留濃度の()内の数値は、定量下限以下の参考値を示す。

表 3-11 今年度調査結果の概要（メタラキシル）

メタラキシルの検出状況							
調査実施都道府県	供試農薬 (有効成分率) 希釈倍率・処理量	供試体	試験区	収穫時の最終農薬処理後経過日数	作付け時 土壌濃度 (mg/kg)	残留濃度 (mg/kg)	残留基準値 (mg/kg)
東京都農林総合研究センター	リミル粒剤 2 (2%) 6kg/10a	ダイコン	処理区-早期作付	71	0.21	0.01	0.2
			処理区-遅延作付	122	0.10	<0.01(n.d.)	
		カブ(根)	処理区-早期作付	57	0.17	0.01	根 0.3 葉 0.3
			処理区-遅延作付	122	0.09	0.01	
		カブ(葉)	処理区-早期作付	57	0.17	0.01	
			処理区-遅延作付	122	0.09	0.01	
埼玉県農林総合研究センター	リミル粒剤 2 (2%) 6kg/10a	コマツナ	処理区-早期作付	14	0.228	<0.005(n.d.)	1
			処理区-遅延作付	60	0.072	<0.005(n.d.)	
		シュンキク	処理区-早期作付	14	0.228	<0.005(n.d.)	1
			処理区-遅延作付	60	0.072	<0.005(n.d.)	
		ホウレンソウ	処理区-早期作付	14	0.228	<0.005(n.d.)	2
			処理区-遅延作付	60	0.072	<0.005(n.d.)	

※ 作付け時土壌濃度について、上：上層(0~10cm)、下：下層(10~20cm)を示す。上下の記載がない場合は全て上層(0~10cm)を示す。

※ 作付け時土壌濃度及び残留濃度の()内の数値は、定量下限以下の参考値を示す。

3-3 試験機関ごとの調査結果の概要

1) 宮城県農業・園芸総合研究所

○対象農薬成分名 種別	アセタミプリド 殺虫剤					
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	モスピラン粒剤 2% 6kg/10a 手散布 9/8・1回					
○耕耘月日	8/25					
○後作の作物名 作付け月日 薬剤処理からの経過日数 収穫月日	ホウレンソウ		コマツナ		ミズナ	
	早期区	遅延区	早期区	遅延区	早期区	遅延区
	9/8	9/26	9/8	9/26	9/8	9/26
	14	32	14	32	14	32
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	<0.01	<0.01	0.04	<0.01	0.08	0.01
○後作の残留基準値 (mg/kg)	3		5		5	
○土壌中濃度 最終処理後 は種時	0-10cm		0.82		0.82	
	10-20cm		-		-	
	0-10cm	0.99	0.71	0.99	0.71	0.99
	10-20cm	-	-	-	-	-
○対象農薬成分名 種別	ジノテフラン 殺虫剤					
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	スタークル粒剤 1% 6kg/10a 手散布 9/8・1回					
○耕耘月日	8/25					
○後作の作物名 作付け月日 薬剤処理からの経過日数 収穫月日	ホウレンソウ		コマツナ		ミズナ	
	早期区	遅延区	早期区	遅延区	早期区	遅延区
	9/8	9/26	9/8	9/26	9/8	9/26
	14	32	14	32	14	32
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.03	0.03
○後作の残留基準値 (mg/kg)	15		5		5	
○土壌中濃度 最終処理後 は種時	0-10cm		0.31		0.31	
	10-20cm		-		-	
	0-10cm	0.24	0.27	0.24	0.27	0.24
	10-20cm	-	-	-	-	-

2) 栃木県農業試験場

○対象農薬成分名 種別	フルトラニル 殺菌剤					
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	モンカットフロアブル 40 40.0% 1000倍・300L/10a 蓄圧式噴霧器で散布 8/11、8/18、8/25・3回					
○耕耘月日	9/5(早期区)、10/25(遅延区)					
○後作の作物名 作付け月日 薬剤処理からの経過日数 収穫月日	シュンギク		ミズナ		ホウレンソウ	
	早期区	遅延区	早期区	遅延区	早期区	遅延区
	9/5	10/25	9/5	10/25	9/5	10/25
	11	61	11	61	11	61
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	0.02	0.05	<0.01	0.01	<0.01	0.01
○後作の残留基準値 (mg/kg)	2		1		2	
○土壌中濃度 最終処理後 0-10cm 10-20cm は種時 0-10cm 10-20cm	2.99	3.19	4.91	5.52	3.47	5.19
	-		-		-	
	1.64	1.20	2.30	1.74	2.08	1.28
	1.05	1.00	1.86	1.21	1.36	1.07
○対象農薬成分名 種別	ホスチアゼート 殺虫剤					
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	ネマトリンエース粒剤 1.5% 20kg/10a 手散布後、レーキで土壌表面を軽く混和 8/18・1回					
○耕耘月日	9/5(早期区)、10/25(遅延区)					
○後作の作物名 作付け月日 薬剤処理からの経過日数 収穫月日	シュンギク		ミズナ		ホウレンソウ	
	早期区	遅延区	早期区	遅延区	早期区	遅延区
	9/5	10/25	9/5	10/25	9/5	10/25
	18	68	18	68	18	68
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	0.01	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
○後作の残留基準値 (mg/kg)	0.1		0.1		0.1	
○土壌中濃度 最終処理後 0-10cm 10-20cm は種時 0-10cm 10-20cm	3.34	2.27	2.64	2.04	2.75	3.53
	-		-		-	
	0.27	0.08	0.37	0.06	0.35	0.04
	0.23	0.10	0.27	0.07	0.41	0.04

3) 埼玉県農林総合研究センター

○対象農薬成分名 種別	メタラキシル 殺菌剤					
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	リドミル粒剤 2 2.0% 6kg/10a 風乾土壌と混合し、手撒き散布 7/13・1回					
○耕耘月日	9/9(遅延区のみ)					
○後作の作物名 作付け月日 薬剤処理からの経過日数 収穫月日	コマツナ		ハウレンソウ		シュンギク	
	早期区	遅延区	早期区	遅延区	早期区	遅延区
	7/27	9/11	7/27	9/11	7/27	9/11
	14	60	14	60	14	60
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	<0.005 (n.d.)	<0.005 (n.d.)	<0.005 (n.d.)	<0.005 (n.d.)	<0.005 (n.d.)	<0.005 (n.d.)
○後作の残留基準値 (mg/kg)	1		2		1	
○土壌中濃度 最終処理後 0-10cm 10-20cm は種時 0-10cm 10-20cm	1.360		1.360		1.360	
	-		-		-	
	0.228	0.072	0.228	0.072	0.228	0.072
	-		-		-	
○対象農薬成分名 種別	アセタミプリド 殺虫剤					
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	モスピラン粒剤 3% 6kg/10a 風乾土壌と混合し、手撒き散布 7月13日・1回					
○耕耘月日	9/9(遅延区のみ)					
○後作の作物名 作付け月日 薬剤処理からの経過日数 収穫月日	コマツナ		ハウレンソウ		シュンギク	
	早期区	遅延区	早期区	遅延区	早期区	遅延区
	7/27	9/11	7/27	9/11	7/27	9/11
	14	60	14	60	14	60
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	<0.005 (n.d.)	<0.005 (n.d.)	<0.005 (n.d.)	<0.005 (n.d.)	<0.005 (n.d.)	<0.005 (n.d.)
○後作の残留基準値 (mg/kg)	5		3		5	
○土壌中濃度 最終処理後 0-10cm 10-20cm は種時 0-10cm 10-20cm	1.336		1.336		1.336	
	-		-		-	
	0.239	0.012	0.239	0.012	0.239	0.012
	-		-		-	

※土壌中濃度及び作物残留濃度の()内の数値は、定量下限以下の参考値を示す。

4) 千葉県農林総合研究センター

○対象農薬成分名 種別	ホスチアゼート 殺虫剤			
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	ネマトリンエース粒剤 1.5% 20kg/10a 土壌混和 7/29・1回			
○耕耘月日	8/12(早期区)、10/4(遅延区)			
○後作の作物名 作付け月日 薬剤処理からの経過日数 収穫月日	ハツカダイコン		コカブ	
	早期区	遅延区	早期区	遅延区
	8/12	10/4	8/12	10/4
	14	67	14	67
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	根 0.009 葉 0.06	根 <0.005 (0.002) 葉 <0.01 (<0.002)	根 <0.005 (0.002) 葉 <0.01 (0.006)	根 <0.005 (<0.001) 葉 <0.01 (<0.002)
○後作の残留基準値 (mg/kg)	根 0.2、葉 0.2		根 0.2、葉 0.1	
○土壌中濃度 最終処理後 0-10cm 10-20cm は種時 0-10cm 10-20cm	3.99		3.99	
	-	-	-	-
	1.29	0.036	1.29	0.036
	0.280	0.052	0.280	0.052
○対象農薬成分名 種別	トルクロホスメチル 殺菌剤			
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	リゾレックス水和剤 50% 500倍・3L/m ² 土壌灌注 8/5・1回			
○耕耘月日	8/12(早期区)、10/4(遅延区)			
○後作の作物名 作付け月日 薬剤処理からの経過日数 収穫月日	ハツカダイコン		コカブ	
	早期区	遅延区	早期区	遅延区
	8/12	10/4	8/12	10/4
	7	60	7	60
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	根 0.010 葉 <0.01 (<0.002)	根 <0.005 (<0.001) 葉 <0.01 (<0.002)	根 <0.005 (0.004) 葉 <0.01 (<0.002)	根 <0.005 (<0.001) 葉 <0.01 (<0.002)
○後作の残留基準値 (mg/kg)	根 2.0、葉 2.0		根 2.0、葉 2.0	
○土壌中濃度 最終処理後 0-10cm 10-20cm は種時 0-10cm 10-20cm	60.1		60.1	
	-	-	-	-
	15.2	0.736	15.2	0.736
	5.80	0.882	5.80	0.882

※土壌中濃度及び作物残留濃度の()内の数値は、定量下限以下の参考値を示す。

5) 東京都農林総合研究センター

対象農薬成分名 種別	アセタミプリド 殺虫剤			
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	モスピラン粒剤 2.0% 6kg/10a 手散布後、レーキで軽く土壌混和 5/17・1回			
○耕耘月日	5/31(早期区)、7/1(遅延区)			
○後作の作物名 作付け月日 薬剤処理からの経過日数 収穫月日	ダイコン		カブ	
	早期区	遅延区	早期区	遅延区
	5/31	7/1	5/31	7/1
	14	44	14	44
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)	根 <0.01 (n.d.) 葉 0.01	根 <0.01 (n.d.) 葉 <0.01 (n.d.)
○後作の残留基準値 (mg/kg)	0.2		根 0.2、葉 5	
○土壌中濃度 最終処理後 0-10cm 10-20cm は種時 0-10cm 10-20cm	1.45	0.54	0.68	1.41
	-		-	
	0.21	0.09	0.31	0.04
	-		-	
○対象農薬成分名 種別	メタラキシル 殺虫剤			
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	リドミル粒剤 2 2.0% 6kg/10a 手散布後、レーキで軽く土壌混和 5/17・1回			
○耕耘月日	5/31(早期区)、7/15(遅延区)			
○後作の作物名 作付け月日 薬剤処理からの経過日数 収穫月日	ダイコン		カブ	
	早期区	遅延区	早期区	遅延区
	5/31	7/15	5/31	7/15
	14	59	14	59
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	0.01	<0.01 (n.d.)	根 0.01 葉 0.01	根 0.01 葉 0.01
○後作の残留基準値 (mg/kg)	0.2		根 0.3、葉 0.3	
○土壌中濃度 最終処理後 0-10cm 10-20cm は種時 0-10cm 10-20cm	2.62	1.11	0.99	0.95
	-		-	
	0.21	0.10	0.17	0.09
	-		-	

※土壌中濃度及び作物残留濃度の()内の数値は、定量下限以下の参考値を示す。

6) 長野県農業試験場

○対象農薬成分名 種別	プロシミドン 殺虫剤					
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	スミレックス水和剤 50.0% 1000倍 300L/10a 如雨露で全面散布 8/3、8/10、8/17・3回					
○耕耘月日	8/10、8/18					
○後作の作物名 作付け月日 薬剤処理からの経過日数 収穫月日	リーフレタス		ホウレンソウ		コマツナ	
	早期区	遅延区	早期区	遅延区	早期区	遅延区
	8/24	10/17	8/24	10/17	8/24	10/17
	7	61	7	61	7	61
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)	0.01
○後作の残留基準値 (mg/kg)	5		5		5	
○土壌中濃度 最終処理後 0-10cm 10-20cm は種時 0-10cm 10-20cm	1.56		1.56		1.56	
	1.03		1.03		1.03	
	0.36	-	0.36	-	0.25	-
	0.29	-	0.27	-	0.38	-
○対象農薬成分名 種別	アセタミプリド 殺虫剤					
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	モスピラン粒剤 2% 6kg/10a 圃場の土と混和して全面散布 8/10・1回					
○耕耘月日	8/10、8/18					
○後作の作物名 作付け月日 薬剤処理からの経過日数 収穫月日	リーフレタス		ホウレンソウ		コマツナ	
	早期区	遅延区	早期区	遅延区	早期区	遅延区
	8/24	10/17	8/24	10/17	8/24	10/17
	14	68	14	68	14	68
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)
○後作の残留基準値 (mg/kg)	5		3		5	
○土壌中濃度 最終処理後 0-10cm 10-20cm は種時 0-10cm 10-20cm	0.74		0.74		0.74	
	0.06		0.06		0.06	
	0.14	-	0.19	-	0.03	-
	0.03	-	0.08	-	0.03	-

※土壌中濃度及び作物残留濃度の（ ）内の数値は、定量下限以下の参考値を示す。

7) 岐阜県農業技術センター

○対象農薬成分名 種別	ジノテフラン 殺虫剤					
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	スタークル粒剤 1.0% 6kg/10a 手散布後、レイキで表面を浅く混和 8/24・1回					
○耕耘月日	9/8(早期区)、9/29(遅延区)					
○後作の作物名 作付け月日 薬剤処理からの経過日数 収穫月日	ハウレンソウ		カブ		ダイコン	
	早期区	遅延区	早期区	遅延区	早期区	遅延区
	9/8	9/29	9/8	9/29	9/8	9/29
	15	36	15	36	15	36
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	10/12	11/10	10/26	11/25	11/9	12/7
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	0.12	0.03	根 0.01、<0.01 葉 0.06	根<0.01 葉 0.02	根 0.01 葉 0.03	根 <0.01 葉 0.02
○後作の残留基準値 (mg/kg)	15		根 0.5、葉 5		根 0.5、葉 3	
○土壌中濃度 最終処理後 0-10cm 10-20cm は種時 0-10cm 10-20cm	0.30		0.30		0.30	
	-		-		-	
	0.08	0.04	0.08	0.04	0.08	0.04
	0.07	0.04	0.07	0.04	0.07	0.04
○対象農薬成分名 種別	クロチアニジン 殺虫剤					
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	ダントツ粒剤 0.5% 6kg/10a 手散布後、レイキで表面を浅く混和 8/24・1回					
○耕耘月日	9/8(早期区)、9/29(遅延区)					
○後作の作物名 作付け月日 薬剤処理からの経過日数 収穫月日	ハウレンソウ		カブ		ダイコン	
	早期区	遅延区	早期区	遅延区	早期区	遅延区
	9/8	9/29	9/8	9/29	9/8	9/29
	15	36	15	36	15	36
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	10/12	11/10	10/26	11/25	11/9	12/7
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	0.06	0.02	根 <0.01 葉 0.02	根 <0.01 葉 <0.01	根 <0.01 葉 <0.01	根 <0.01 葉 <0.01
○後作の残留基準値 (mg/kg)	3		根 0.02、葉 0.02		根 0.1、葉 5	
○土壌中濃度 最終処理後 0-10cm 10-20cm は種時 0-10cm 10-20cm	0.24		0.24		0.24	
	-		-		-	
	0.10	0.04	0.10	0.04	0.10	0.04
	0.13	0.04	0.13	0.04	0.13	0.04

8) 京都府農林水産技術センター

○対象農薬成分名 種別	アセタミプリド 殺虫剤			
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	モスピラン粒剤 2.0% 6kg/10a 土壌混和处理(畝面に処理後、レーキにより混和) 6月14日・1回			
○耕耘月日	6/28			
○後作の作物名 作付け月日 薬剤処理からの経過日数 収穫月日	ニンジン		カブ	
	早期区	遅延区	早期区	遅延区
	6/29	8/29	6/29	8/29
	14	76	14	76
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	10/17	1/13	8/8	10/25
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)	根 <0.01 (n.d.) 葉 <0.01 (0.005)	根 <0.01 (n.d.) 葉 <0.01 (n.d.)
○後作の残留基準値 (mg/kg)	-		根 0.1、葉 5	
○土壌中濃度 最終処理後 0-10cm 10-20cm は種時 0-10cm 10-20cm	2.39		2.39	
	-		-	
	1.67	0.49	1.67	0.49
	0.04	<0.01 (n.d.)	0.04	<0.01 (n.d.)
○対象農薬成分名 種別	ジノテフラン 殺虫剤			
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	スタークル粒剤 1.0% 6kg/10a 土壌混和处理(畝面に処理後、レーキにより混和) 6月14日・1回			
○耕耘月日	6/28			
○後作の作物名 作付け月日 薬剤処理からの経過日数 収穫月日	ニンジン		カブ	
	早期区	遅延区	早期区	遅延区
	6/29	8/29	6/29	8/29
	14	76	14	76
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	10/17	1/13	8/8	10/25
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	0.01, <0.01	<0.01	根 <0.01 (0.008) 葉 0.05	根 <0.01 (0.007) 葉 0.02
○後作の残留基準値 (mg/kg)	0.7		根 0.5、葉 5	
○土壌中濃度 最終処理後 0-10cm 10-20cm は種時 0-10cm 10-20cm	1.08		1.08	
	-		-	
	0.59	0.36	0.59	0.36
	0.09	0.01, <0.01	0.09	0.01, <0.01

※土壌中濃度及び作物残留濃度の()内の数値は、定量下限以下の参考値を示す。

9) 大阪府環境農林水産総合研究所

○対象農薬成分名 種別	ジノテフラン 殺虫剤					
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	アルバリン粒剤 1.0% 6kg/10a 軽く土壌混和 6/1・1回					
○耕耘月日	6/1					
○後作の作物名 作付け月日 薬剤処理からの経過日数 収穫月日	コマツナ		シロナ		シュンギク	
	早期区	遅延区	早期区	遅延区	早期区	遅延区
	6/15	8/4	6/15	8/4	6/15	8/4
	14	64	14	64	14	64
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	7/13	8/29	7/13	8/29	7/22	9/14
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	0.14	<0.05	<0.05	<0.05	0.11	<0.05
○後作の残留基準値 (mg/kg)	5		5		20	
○土壌中濃度 最終処理後 0-10cm 10-20cm は種時 0-10cm 10-20cm	0.72		0.72		0.72	
	-		-		-	
	0.51	<0.01	0.51	<0.01	0.51	<0.01
	-	-	-	-	-	-
○対象農薬成分名 種別	アセタミプリド 殺虫剤					
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	モスピラン粒剤 2.0% 6kg/10a 軽く土壌混和 6/1・1回					
○耕耘月日	6/1					
○後作の作物名 作付け月日 薬剤処理からの経過日数 収穫月日	コマツナ		シロナ		シュンギク	
	早期区	遅延区	早期区	遅延区	早期区	遅延区
	6/15	8/4	6/15	8/4	6/15	8/4
	14	64	14	64	14	64
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	7/13	8/29	7/13	8/29	7/22	9/14
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	0.78	<0.05	0.25	<0.05	0.36	<0.05
○後作の残留基準値 (mg/kg)	5		5		5	
○土壌中濃度 最終処理後 0-10cm 10-20cm は種時 0-10cm 10-20cm	1.3		1.3		1.3	
	-		-		-	
	0.76	<0.01	0.76	<0.01	0.76	<0.01
	-	-	-	-	-	-

10) 兵庫県農林水産技術総合センター

○対象農薬成分名 種別	ホスチアゼート 殺虫剤					
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	ネマトリンエース粒剤 1.5% 20kg/10a 土壌混和(畝面のみ) 5/2・1回					
○耕耘月日	5/2					
○後作の作物名 作付け月日 薬剤処理からの経過日数 収穫月日	コマツナ		シュンギク		チンゲンサイ	
	早期区	遅延区	早期区	遅延区	早期区	遅延区
	5/16	7/1	5/16	7/1	5/16	7/1
	14	60	14	60	14	60
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	0.03	<0.01 (n.d.)	0.48	0.01	0.06	<0.01 (n.d.)
○後作の残留基準値 (mg/kg)	0.1		0.1		0.1	
○土壌中濃度 最終処理後 0-10cm 10-20cm は種時 0-10cm 10-20cm	2.96	4.14	2.96	4.14	2.96	4.14
	-	-	-	-	-	-
	1.42	0.38	2.34	0.22	1.61	0.36
	0.10	<0.01 (0.008)	0.10	<0.01 (0.007)	0.10	0.07
○対象農薬成分名 種別	クロチアニジン 殺虫剤					
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	ダントツ粒剤 0.5% 6kg/10a 土壌混和(畝面のみ) 5/2・1回					
○耕耘月日	5/2					
○後作の作物名 作付け月日 薬剤処理からの経過日数 収穫月日	コマツナ		シュンギク		チンゲンサイ	
	早期区	遅延区	早期区	遅延区	早期区	遅延区
	5/16	7/1	5/16	7/1	5/16	7/1
	14	60	14	60	14	60
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	<0.01 (0.006)	<0.01 (0.008)	<0.01 (0.007)	<0.01 (0.009)	0.01	0.01
○後作の残留基準値 (mg/kg)	1		0.2		5	
○土壌中濃度 最終処理後 0-10cm 10-20cm は種時 0-10cm 10-20cm	0.24	0.28	0.24	0.28	0.24	0.28
	-	-	-	-	-	-
	0.15	0.10	0.2	0.08	0.11	0.10
	0.02	<0.01 (0.003)	0.01	<0.01 (0.002)	0.02	0.02

※土壌中濃度及び作物残留濃度の()内の数値は、定量下限以下の参考値を示す。

11) 奈良県農業総合センター

○対象農薬成分名 種別	アセタミプリド 殺虫剤					
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	モスピラン粒剤 2.0% 6kg/10a 土壌表面散布後、レーキでかるく土壌混和 8/31・1回					
○耕耘月日	9/13					
○後作の作物名 作付け月日 薬剤処理からの経過日数 収穫月日	コマツナ		ハウレンソウ		小ネギ	
	早期区	遅延区	早期区	遅延区	早期区	遅延区
	9/14	10/6	9/14	10/6	9/14	10/6
	14	36	14	36	14	36
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)
○後作の残留基準値 (mg/kg)	5		3		4.5	
○土壌中濃度 最終処理後 は種時	0-10cm		0-10cm		0-10cm	
	10-20cm		10-20cm		10-20cm	
	0-10cm	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)
	10-20cm	0.04	<0.01 (n.d.)	0.04	<0.01 (n.d.)	0.04
○対象農薬成分名 種別	クロチアニジン 殺虫剤					
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	ダントツ粒剤 0.5% 6kg/10a 土壌表面散布後、レーキでかるく土壌混和 8/31・1回					
○耕耘月日	9/13					
○後作の作物名 作付け月日 薬剤処理からの経過日数 収穫月日	コマツナ		ハウレンソウ		小ネギ	
	早期区	遅延区	早期区	遅延区	早期区	遅延区
	9/14	10/6	9/14	10/6	9/14	10/6
	14	36	14	36	14	36
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	<0.01 (0.003)	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)
○後作の残留基準値 (mg/kg)	1		3		0.7	
○土壌中濃度 最終処理後 は種時	0-10cm		0-10cm		0-10cm	
	10-20cm		10-20cm		10-20cm	
	0-10cm	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28
	10-20cm	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)
0-10cm	0.09	0.06	0.09	0.06	0.09	0.06
10-20cm	0.01	0.04	0.01	0.04	0.01	0.04

※土壌中濃度及び作物残留濃度の（ ）内の数値は、定量下限以下の参考値を示す。

12) 山口県農林総合技術センター

○対象農薬成分名 種別	アセタミプリド 殺虫剤					
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	モスピラン水溶剤 20.0% 2,000倍・300L/10a 噴霧機による散布(土壌表面全面) 9/8、9/15、9/22・3回					
○耕耘月日	9/5、9/27					
○後作の作物名 作付け月日 薬剤処理からの経過日数 収穫月日	ハウレンソウ		コマツナ		リーフレタス	
	早期区	遅延区	早期区	遅延区	早期区	遅延区
	9/29	11/21	9/29	11/21	9/29	11/21
	7	60	7	60	7	60
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)
○後作の残留基準値 (mg/kg)	3		5		5	
○土壌中濃度 最終処理後 0-10cm 10-20cm は種時 0-10cm 10-20cm	0.53		0.53		0.53	
	-		-		-	
	0.48	<0.01 (n.d.)	0.48	<0.01 (n.d.)	0.48	<0.01 (n.d.)
	0.15	<0.01 (n.d.)	0.15	<0.01 (n.d.)	0.15	<0.01 (n.d.)
○対象農薬成分名 種別	クロチアニジン 殺虫剤					
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	ダントツ水溶剤 16.0% 2,000倍・300L/10a 噴霧機による散布(土壌表面全面) 9/8、9/15、9/22・3回					
○耕耘月日	9/5、9/27					
○後作の作物名 作付け月日 薬剤処理からの経過日数 収穫月日	ハウレンソウ		コマツナ		リーフレタス	
	早期区	遅延区	早期区	遅延区	早期区	遅延区
	9/29	11/21	9/29	11/21	9/29	11/21
	7	60	7	60	7	60
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	0.24	0.09	0.13	0.06	0.09	0.03
○後作の残留基準値 (mg/kg)	3		1		20	
○土壌中濃度 最終処理後 0-10cm 10-20cm は種時 0-10cm 10-20cm	0.54		0.54		0.54	
	-		-		-	
	0.70	0.27	0.70	0.27	0.70	0.27
	0.12	0.11	0.12	0.11	0.12	0.11

※土壌中濃度及び作物残留濃度の()内の数値は、定量下限以下の参考値を示す。

13) 徳島県立農林水産総合技術支援センター農業研究所

○対象農薬成分名 種別	チアトキサム 殺虫剤					
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	アクタラ粒剤 5 0.5% 6kg/10a 試験区内に均一に処理し、軽く土壌混和 8/16(遅延区)、9/28(早期区)・各1回					
○耕耘月日	10/4(遅延区)、10/12(早期区)					
○後作の作物名 作付け月日 薬剤処理からの経過日数 収穫月日	ホウレンソウ		コマツナ		チンゲンサイ	
	早期区	遅延区	早期区	遅延区	早期区	遅延区
	10/12	10/4	10/12	10/4	10/12	10/4
	14	49	14	49	14	49
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	11/25	11/14	11/10	11/7	11/25	11/10
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	<0.02 (0.01)	<0.02 (n.d.)	0.06	<0.02 (0.01)	<0.02 (0.01)	<0.02 (0.01)
○後作の残留基準値 (mg/kg)	10		5		5	
○土壌中濃度 最終処理後 0-10cm 10-20cm は種時 0-10cm 10-20cm	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
	-	-	-	-	-	-
	0.14	0.03	0.14	0.03	0.14	0.03
	0.07	0.03	0.07	0.03	0.07	0.03
○対象農薬成分名 種別	クロチアニジン 殺虫剤					
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	ダントツ粒剤 0.5% 6 kg/10a 試験区内に均一に処理し、軽く土壌混和 8/16(遅延区)、9/28(早期区)・各1回					
○耕耘月日	10/4(遅延区)、10/12(早期区)					
○後作の作物名 作付け月日 薬剤処理からの経過日数 収穫月日	ホウレンソウ		コマツナ		チンゲンサイ	
	早期区	遅延区	早期区	遅延区	早期区	遅延区
	10/12	10/4	10/12	10/4	10/12	10/4
	14	49	14	49	14	49
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	11/25	11/14	11/10	11/7	11/25	11/10
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	0.04	<0.02 (0.01)	<0.02 (0.01)	<0.02 (0.01)	<0.02 (0.008)	<0.02 (n.d.)
○後作の残留基準値 (mg/kg)	3		1		5	
○土壌中濃度 最終処理後 0-10cm 10-20cm は種時 0-10cm 10-20cm	0.72	0.15	0.72	0.15	0.72	0.15
	-	-	-	-	-	-
	0.13	0.08	0.13	0.08	0.13	0.08
	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09

※土壌中濃度及び作物残留濃度の()内の数値は、定量下限以下の参考値を示す。

※台風の影響により早期作付区を再度設定したため、早期区の作付け月日等が遅延区よりも後となっている。

14) 香川県農業試験場

○対象農薬成分名 種別	ジノテフラン 殺虫剤					
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	アルバリン顆粒水溶剤 20% 2000倍・300L/10a 背負式動力噴霧器による散布 5/16、5/23、5/30・3回					
○耕耘月日	6/2					
○後作の作物名 作付け月日 薬剤処理からの経過日数 収穫月日	コマツナ		チンゲンサイ		ホウレンソウ	
	早期区	遅延区	早期区	遅延区	早期区	遅延区
	6/6	7/29	6/6	7/29	6/6	7/29
	7	60	7	60	7	60
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	7/1	8/30	7/6	9/5	7/11	9/15
○後作の残留基準値 (mg/kg)	0.18	0.02	0.12	0.01	0.08	<0.01 (0.004)
○土壌中濃度 最終処理後 0-10cm	5		10		15	
10-20cm	0.78		0.78		0.78	
は種時 0-10cm	-		-		-	
10-20cm	0.16	<0.01 (0.003)	0.16	<0.01 (0.003)	0.16	<0.01 (0.003)
○対象農薬成分名 種別	アセタミプリド 殺虫剤					
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	モスピラン水溶剤 20.0% 2,000倍・300L/10a 背負式動力噴霧器による散布 5/16、5/23、5/30・3回					
○耕耘月日	6/2					
○後作の作物名 作付け月日 薬剤処理からの経過日数 収穫月日	コマツナ		チンゲンサイ		ホウレンソウ	
	早期区	遅延区	早期区	遅延区	早期区	遅延区
	6/6	7/29	6/6	7/29	6/6	7/29
	7	60	7	60	7	60
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	7/1	8/30	7/6	9/5	7/11	9/15
○後作の残留基準値 (mg/kg)	<0.01 (0.002)	<0.01	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)
○土壌中濃度 最終処理後 0-10cm	5		5		3	
10-20cm	0.68		0.68		0.68	
は種時 0-10cm	-		-		-	
10-20cm	0.03	<0.01 (0.001)	0.03	<0.01 (0.001)	0.03	<0.01 (0.001)
	-	-	-	-	-	-

※土壌中濃度及び作物残留濃度の()内の数値は、定量下限以下の参考値を示す。

○対象農薬成分名 種別	マイクロブタニル殺菌剤					
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	ラリー水和剤 10% 2000倍・300L/10a 背負式動力噴霧器による散布 5/16、5/23、5/30・3回					
○耕耘月日	6/2					
○後作の作物名 作付け月日 薬剤処理からの経過日数 収穫月日	コマツナ		チンゲンサイ		ホウレンソウ	
	早期区	遅延区	早期区	遅延区	早期区	遅延区
	6/6	7/29	6/6	7/29	6/6	7/29
	7	60	7	60	7	60
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	0.01	0.004	<0.01 (0.002)	<0.01	<0.01	<0.01
○後作の残留基準値 (mg/kg)	0.03		1.0		3.0	
○土壌中濃度 最終処理後 は種時	0-10cm		0.70		0.70	
	10-20cm		-		-	
	0-10cm	0.16	0.10	0.16	0.10	0.16
	10-20cm	-	-	-	-	-

※土壌中濃度及び作物残留濃度の（ ）内の数値は、定量下限以下の参考値を示す。

15) 高知県農業技術センター

○対象農薬成分名 種別	ジノテフラン 殺虫剤					
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	スタークル顆粒水溶剤 20% 2,000倍・300L/10a 背負い式動力噴霧機による散布 7/26、8/2、8/9・3回					
○耕耘月日	8/16					
○後作の作物名 作付け月日 薬剤処理からの経過日数 収穫月日	カブ		ニンジン		コマツナ	
	早期区	遅延区	早期区	遅延区	早期区	遅延区
	8/16	9/9	8/16	9/9	8/16	9/9
	7	31	7	31	7	31
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	根 <0.01 (0.006) 葉 0.02	根 <0.01 (0.001) 葉 <0.01 (0.008)	根 <0.01 (0.004) 葉 0.02	根 <0.01 (0.003) 葉 0.01	0.04	<0.01 (0.006)
○後作の残留基準値 (mg/kg)	根 0.5 葉 5		根 0.7 葉 5		5	
○土壌中濃度 最終処理後 0-10cm 10-20cm は種時 0-10cm 10-20cm	0.82		0.82		0.82	
	-		-		-	
	0.21	0.03	0.21	0.03	0.21	0.03
	0.26	0.06	0.26	0.06	0.26	0.06
○対象農薬成分名 種別	ジノテフラン 殺虫剤					
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	スタークル粒剤 1% 6kg/10a 土壌表面に手散布後、こまめで軽く土壌混和 8/2・1回					
○耕耘月日	8/16					
○後作の作物名 作付け月日 薬剤処理からの経過日数 収穫月日	カブ		ニンジン		コマツナ	
	早期区	遅延区	早期区	遅延区	早期区	遅延区
	8/16	9/9	8/16	9/9	8/16	9/9
	14	38	14	38	14	38
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	根 0.01 葉 0.05	根 <0.01 (0.005) 葉 0.01	根 <0.01 (0.006) 葉 0.03	根 <0.01 (0.004) 葉 0.02	0.06	<0.01 (0.007)
○後作の残留基準値 (mg/kg)	根 0.5 葉 5		根 0.7 葉 5		5	
○土壌中濃度 最終処理後 0-10cm 10-20cm は種時 0-10cm 10-20cm	1.2		1.2		1.2	
	-		-		-	
	0.25	0.06	0.25	0.06	0.25	0.06
	0.28	0.14	0.28	0.14	0.28	0.14

※土壌中濃度及び作物残留濃度の()内の数値は、定量下限以下の参考値を示す。

16) 熊本県農業研究センター

○対象農薬成分名 種別	アセタミプリド 殺虫剤					
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	モスピラン水溶剤 20% 2,000倍・300L/10a 散布(プロシミドンと混用) 8/19、8/26、9/2・3回					
○耕耘月日	9/2					
○後作の作物名 作付け月日 薬剤処理からの経過日数 収穫月日	ハウレンソウ		コマツナ		コネギ	
	早期区	遅延区	早期区	遅延区	早期区	遅延区
	9/9	9/28	9/9	9/28	9/9	9/28
	7	19	7	19	7	19
	10/12	11/4	10/12	10/27	11/21	12/15
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)	<0.01 (n.d.)
○後作の残留基準値 (mg/kg)	3		5		4.5	
○土壌中濃度 最終処理後 0-10cm 10-20cm は種時 0-10cm 10-20cm	0.55		0.55		0.55	
	-		-		-	
	0.27	0.09	0.27	0.09	0.27	0.09
	0.67	0.07	0.67	0.07	0.67	0.07
○対象農薬成分名 種別	プロシミドン 殺虫剤					
○供試農薬商品名 有効成分含有率 希釈倍率・処理量 処理方法 処理月日・回数	スミレックス水和剤 50% 1000倍希釈・300L/10a 散布(アセタミプリドと混用) 8/19、8/26、9/2・3回					
○耕耘月日	9/2					
○後作の作物名 作付け月日 薬剤処理からの経過日数 収穫月日	ハウレンソウ		コマツナ		コネギ	
	早期区	遅延区	早期区	遅延区	早期区	遅延区
	9/9	9/28	9/9	9/28	9/9	9/28
	7	19	7	19	7	19
	10/12	11/4	10/12	10/27	11/21	12/15
○後作の作物残留濃度 (mg/kg)	0.02	<0.01 (n.d.)	0.03	<0.01 (n.d.)	0.05	<0.01 (n.d.)
○後作の残留基準値 (mg/kg)	5		5		5	
○土壌中濃度 最終処理後 0-10cm 10-20cm は種時 0-10cm 10-20cm	4.04		4.04		4.04	
	-		-		-	
	2.00	1.88	2.00	1.88	2.00	1.88
	1.90	1.92	1.90	1.92	1.90	1.92

※土壌中濃度及び作物残留濃度の()内の数値は、定量下限以下の参考値を示す。

3-4 過年度における農薬の検出状況

平成 23 年度の調査対象となっている農薬成分について、過年度（平成 15 年度～平成 22 年度）における調査の実施状況及び検出状況は表 3-12～表 3-21 に整理したとおりであり、収穫時の作物の残留濃度が残留基準値を超過することは確認されていない。

表 3-12 農薬の過年度の検出状況（アセタミプリド）

年度	測定機関 都道府県	供試農薬名 (有効成分率) 濃度・量	前作物	後作物	後作物の 作物残留濃度 (mg/kg)	土壌中 濃度 (mg/kg)	後作の 残留 基準値 (mg/kg)
H22	兵庫県 農林水産技術 総合センター	モスピラン粒剤 (2%) 3 kg/10a	なし	コマツナ 施設	<0.01	0.6 0.1	5
				ハウレンソウ 施設	<0.01	0.6 0.2	5
				シュンギク 施設	<0.01	0.6 0.1	5
H22	大阪府環境農 林水産総合研 究所	モスピラン水溶剤 (20%) 1000 倍 300 L/10a	なし	コマツナ 施設	<0.01	0.5 1.1	5
				シュンギク 施設	<0.01	0.8 0.7	5
H22	長野県農業試 験場	モスピラン粒剤 (2%) 3kg/10a	なし	コマツナ 露地	<0.01	0.03 <0.01	5
				ハウレンソウ 露地	<0.01		5
H22	東京都 農林総合研究 センター	モスピラン水溶剤 (20%) 2000 倍 300 L/10a	なし	コマツナ 露地	<0.01	0.46 0.31	5
				コカブ 露地	葉 0.01 根<0.01	0.44 0.27	葉 5 根 0.1
H22	埼玉県 農林総合研究 センター	モスピラン粒剤 (2%) 3kg/10a	なし	シュンギク トンネル栽培	<0.01*	0.43* 0.03*	5
				非結球レタス トンネル栽培	<0.01*	0.39* 0.02*	3
H21	香川県 農業試験場	モスピラン粒剤+水溶 剤 (3%+20%) 6kg/10a + 2000 倍 300 L/10a	ネギ	コマツナ 施設 (早期区)	0.016	4.45 0.07	5
				コマツナ 施設 (遅延区)	0.012	4.45 0.07	
H21	宮城県農業・ 園芸総合研究 所	モスピラン粒剤 (2%) 3kg/10a	コマツナ	ミズナ	<0.01	0.57 0.03	5
H21	青森県 農林総合研究 センター	モスピラン水溶剤 (20%) 8000 倍 300 L/10a	ハウレンソ ウ	コマツナ 施設	<0.01	0.15 0.04	5
H20	奈良県農業 総合センター	モスピラン水溶剤 (20%) 8000 倍 300 L/10a	シロナ	ハウレンソウ 施設 (早期区)	<0.01	0.03 0.01	5
				ハウレンソウ 施設 (遅延区)	<0.01	0.03 <0.01	
H20	京都府農業総 合研究所	モスピラン粒剤 (2%) 6kg/10a	ネギ	コマツナ (耕起区)	<0.01	0.34 0.09	5
				コマツナ (不耕起)	<0.01		
				ミズナ (耕起区)	<0.01	5	
				ミズナ (不耕起)	<0.01		
				ハタケナ (耕起区)	<0.01		
ハタケナ (不耕起)	<0.01						
H19	埼玉県 農林総合研究 センター	モスピラン粒剤 (2%) 3kg/10a	コマツナ	ハウレンソウ	<0.02	3.61 0.04	5
H19	宮城県農業・ 園芸総合研究 所	モスピラン水溶剤 (20%) 8000 倍 300 L/10a	ハウレンソ ウ	コマツナ	<0.02	0.02	5

H18	高知県農業技術センター	モスピラン粒剤 (2%) 1.38 kg/10a モスピラン水和剤 (20%) 2000 倍×3 回 300L/10a	キュウリ	ナス	<0.01	- 0.26	2
H18	香川県農業試験場	アセタミプリド粒剤 120g/10a	ネギ	リーフレタス	<0.005	- 0.21	5
H18	兵庫県農林水産技術総合センター	アセタミプリド粒剤 312g/10a	チンゲンサイ	シュンギク	<0.02	- 0.15	5
				コマツナ	<0.02	- 0.15	5
H18	長野県農業総合試験場	アセタミプリド粒剤 92.3g/10a	キャベツ	チンゲンサイ	<0.01	- 0.01	5
H17	長崎県総合農業試験場	粒剤	非結球レタス	なし	—	- n. d. (31 日後)	3
		水溶剤		なし	—	- n. d.	
H17	香川県農業試験場	粒剤	キャベツ	なし	—	- 8 (56 日後)	3
		水溶剤		なし	—	0.02 (42 日後)	
H17	山口県農林総合技術センター	粒剤	キャベツ	なし	—	- 6.6 (76 日後)	3
		水溶剤		なし	—	0.03 (28 日後)	
H17	兵庫県農林水産技術総合センター	粒剤	チンゲンサイ	なし	—	- 3.12 (56 日後)	5
		水溶剤		なし	—	低濃度	
H17	宮城県農業・園芸総合研究所	粒剤	ハクサイ	なし	—	n. d.	0.5
		水溶剤		なし	—	n. d.	

※後作の土壤中の濃度について、上段：最終散布処理後の濃度、下段：は種時の濃度を示す

*：参考データ

表 3-13 農薬の過年度の検出状況（クロチアニジン）

年度	測定機関 都道府県	供試農薬名 (有効成分率) 濃度・量	前作物	後作物	後作物の 作物残留濃度 (mg/kg)	土壤中 濃度 (mg/kg)	後作の 残留 基準値 (mg/kg)
H22	高知県農業技術センター	ダントツ水溶剤 (16%) 2000 倍×3 回 300 L /10a	なし	コマツナ 露地	0.049	0.76 0.28	1
				チンゲンサイ 露地	0.017		5
				ハウレンソウ 露地	0.064	3	
H22	徳島県立農林水産総合技術支援センター 農業研究所	ダントツ水溶剤 (16%) 2000 倍 300 L /10a	なし	コマツナ 露地	0.06	0.52 0.21	1
				チンゲンサイ 露地	0.04		5
				ハウレンソウ 露地	0.15	3	
H21	高知県農業技術センター	ダントツ粒剤 (0.5%) 2,222 kg/10a ダントツ水和剤 (20%) 2000 倍×3 回	キュウリ	コマツナ 施設	0.051	1.2 0.59	1

		300L/10a					
H19	香川県 農業試験場	ダントツ粒剤 (0.5%) 6kg/10a	ネギ	ハウレンソウ	0.01	0.8 0.08	0.02
H19	奈良県農業 総合センター	ダントツ粒剤 (0.5%) 6kg/10a	ネギ	コマツナ	<0.01	0.56	0.7
				ミズナ	<0.01	0.07	5
				シュンギク	<0.01		0.2
H18	奈良県農業 総合センター	クロチアニジン粒剤 6kg/10a	ネギ	シュンギク	0.21	- 0.38	0.02

※後作の土壌中の濃度について、上段：最終散布処理後の濃度、下段：は種時の濃度を示す

表 3-14 農薬の過年度の検出状況（ジノテフラン）

年度	測定機関 都道府県	供試農薬名 (有効成分率) 濃度・量	前作物	後作物	後作物の 作物残留濃度 (mg/kg)	土壌中 濃度 (mg/kg)	後作の 残留 基準値 (mg/kg)
H22	熊本県農業 研究センター	スタークル顆粒水溶 剤 (20%) 2000倍 300L/10a	なし	ハウレンソウ 露地	0.04	0.90 0.50	15
				コマツナ 露地	0.05	0.90 0.29	5
				非結球レタス 露地	0.07	1.09 0.49	5
H22	山口県 農林総合技術 センター	アルバリン顆粒水溶 剤 (20%) 2000倍 300L/10a	なし	コマツナ	0.52	0.37 0.74	5
				リーフレタス	0.39	0.48 0.68	5
H21	日本植物防疫 協会	スタークル粒剤 (1.0%) 9kg/10a	裸地	コマツナ 露地 (薬剤処理 30日)	0.08	4.99 0.04	5
				コマツナ 露地 (薬剤処理 58日)	0.06	4.99 <0.01	
				コマツナ 露地 (薬剤処理 90日)	0.04	4.99 <0.01	
				カブ 露地 (薬剤処理 30日)	葉 0.28 根 0.06	4.99 0.02	葉 5 根 0.5
				カブ 露地 (薬剤処理 58日)	葉 0.12 根 0.03	4.99 <0.01	
				カブ 露地 (薬剤処理 90日)	葉 0.04 根 0.02	4.99 <0.01	
				ハウレンソウ施設 (薬剤処理 10日)	0.18	4.33 1.22	
ハウレンソウ施設 (薬剤処理 17日)	0.2	4.33 1.33					
H20	日本植物防疫 協会	スタークル粒剤 (1.0%) 6kg/10a	裸地	ハウレンソウ (薬剤処理 14日)	0.04	1.96 0.1	15
				ハウレンソウ (薬剤処理 28日)	0.02	1.96 0.05	
				ハウレンソウ (薬剤処理 42日)	0.01	1.96 0.04	
				ハウレンソウ (薬剤処理 58日)	<0.01	1.96 0.02	
H20	徳島県立農林 水産総合技術 支援センター 農業研究所	スタークル粒剤 (1.0%) 6kg/10a	コマツナ	ハウレンソウ	<0.02	0.44 0.01	15
H19	日本植物防疫 協会	スタークル粒剤 (1.0%) 1g/株	ピーマン	ハウレンソウ (耕起区)	0.02	0.46 0.67	15
				ハウレンソウ (不耕起)	0.04	0.34 0.75	
H19	兵庫県 農林水産技術 総合センター	スタークル粒剤 (1.0%) 6kg/10a	コマツナ	ネギ	<0.01	0.346 0.021	5

※後作の土壌中の濃度について、上段：最終散布処理後の濃度、下段：は種時の濃度を示す

表 3-15 農薬の過年度の検出状況（チアメトキサム）

年度	測定機関 都道府県	供試農薬名 (有効成分率) 濃度・量	前作物	後作物	後作物の 作物残留濃度 (mg/kg)	土壌中 濃度 (mg/kg)	後作の 残留 基準値 (mg/kg)
H22	香川県 農業試験場	アクタラ顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 300L/10a	なし	コマツナ 施設（耕起区）	0.07 (0.01)	0.30 (<0.01) 0.24 (<0.01)	5 (1)
				コマツナ 施設（不耕起）	0.12 (0.02)	0.40 (<0.01) 0.35 (<0.01)	
				チンゲンサイ 施設（耕起区）	0.07 (0.02)	0.33 (<0.01) 0.25 (<0.01)	5 (5)
				チンゲンサイ 施設（不耕起）	0.08 (0.02)	0.33 (<0.01) 0.30 (<0.01)	
H22	徳島県立農林 水産総合技術 支援センター 農業研究所	アクタラ顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 300L/10a	なし	コマツナ 露地	0.06 (<0.02)	0.38 (<0.01)	5 (1)
				チンゲンサイ 露地	0.08 (<0.02)	0.12 (<0.01)	5 (5)
				ハウレンソウ 露地	0.02 (0.09)		10 (3)
H22	山口県 農林総合技術 センター	アクタラ顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 300L/10a	なし	コマツナ 施設	0.25	0.23 0.60	5
				リーフレタス 施設	0.21	0.42 0.42	3
H22	京都府 農林水産技術 センター 農林センター	アクタラ顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 300L/10a	なし	コマツナ 施設	0.21 (<0.01)	0.35 (<0.01)	5 (1)
				ネギ 施設	0.14 (0.04)	0.37 (<0.01)	2 (0.7)
				ハウレンソウ 施設	<0.01 (0.09)		10 (3)
H21	日本植物防疫 協会	アクタラ顆粒水溶剤 (10%) 2000倍 300L/10a	なし	コマツナ 露地 (薬剤処理 30日)	0.07 (<0.01)	0.62(0.01) 0.06(0.01)	5 (1)
				コマツナ 露地 (薬剤処理 58日)	0.03 (<0.01)	0.62(0.01) 0.03(0.01)	
				コマツナ 露地 (薬剤処理 90日)	0.01 (<0.01)	0.62(0.01) 0.02 (<0.01)	
				カブ 露地 (薬剤処理 30日)	葉 0.08 根 0.02 (葉 0.02 根<0.01)	0.62(0.01) 0.06(0.01)	葉 2 根 0.02 (葉 0.02 根 0.02)
				カブ 露地 (薬剤処理 58日)	葉 0.06 根 0.01 (葉 0.02 根<0.01)	0.62(0.01) 0.03(0.01)	
				カブ 露地 (薬剤処理 90日)	葉 0.01 根<0.01 (葉<0.01 根<0.01)	0.62(0.01) 0.02 (<0.01)	
H21	兵庫県 農林水産技術 総合センター	アクタラ粒剤 (0.5%) 6kg/10a	チンゲンサイ	ハウレンソウ 施設	<0.01 (0.06)	0.175 (0.01) 0.121 (0.008)	10 (3)
				シュンギク 施設	0.08 (0.01)	0.175 (0.01) 0.121	3 (0.2)

						(0.008)	
		アクタラ粒剤+ アクタラ水溶剤 (0.5%+10.0%) 6kg/10a+2000倍 150+300L/10a		ハウレンソウ 施設	<0.01 (0.14)	0.244 (0.008) 0.368 (0.014)	10 (3)
				シュンギク 施設	0.17 (0.01)	0.244 (0.008) 0.368 (0.014)	3 (0.2)
H20	徳島県立農林 水産総合技術 支援センター 農業研究所	アクタラ水溶剤 (10%) 2000倍 300L/10a	コマツナ	ハウレンソウ	<0.02 (0.02)	0.21 (<0.01) 0.02 (<0.01)	2 (0.02)
H19	徳島県立農林 水産総合技術 支援センター 農業研究所	アクタラ粒剤 5 (0.5%) 6kg/10a	コマツナ	ハウレンソウ (播種時作条処理 土壌混和)	0.02 (0.16)	0.76 (<0.02) 0.12 (<0.02)	2 (0.02)
				ハウレンソウ (播種時播溝処理 土壌混和)	0.02 (0.15)	0.94 (<0.02) 0.10 (<0.02)	

※ 後作の土壌中の濃度について、上段：最終散布処理後の濃度、下段：は種時の濃度を示す

※ () は代謝物クロチアニジン

表 3-16 農薬の過年度の検出状況（トルクロホスメチル）

年度	測定機関 都道府県	供試農薬名 (有効成分率) 濃度・量	前作物	後作物	後作物の 作物残留濃度 (mg/kg)	土壌中 濃度 (mg/kg)	後作の 残留 基準値 (mg/kg)
H22	日本植物防疫 協会	リゾレックス 水和剤 (50%) 5000倍～100倍 3000L/10a	なし	コマツナ 1/10濃度	<0.01	- 1.22	2
				コマツナ 1/2濃度	0.02	- 6.90	
				コマツナ 慣行濃度	0.11	- 13.9	
				コマツナ 5倍濃度	0.07	- 78.1	
				カブ 1/10濃度	葉<0.01 根<0.01	- 1.22	葉2 根2
				カブ 1/2濃度	葉<0.01 根<0.01	- 6.90	
				カブ 慣行濃度	葉0.01 根<0.01	- 13.9	
				カブ 5倍濃度	葉0.02 根0.06	- 78.1	
H22	兵庫県 農林水産技術 総合センター	リゾレックス粉剤 (5%) 40kg/10a	なし	コマツナ	<0.01	9.8 1.0	2
				ハウレンソウ	<0.01	24.4 5.9	2
				シュンギク	0.02～0.04	9.8 7.7	2
H20	日本植物防疫 協会	リゾレックス水和剤 (50%) 1000倍, 3L/m ²	裸地	ハウレンソウ (薬剤処理 14日)	<0.01	46.7 3.34	2
				ハウレンソウ (薬剤処理 28日)	<0.01	46.7 0.51	
				ハウレンソウ (薬剤処理 42日)	<0.01	46.7 0.14	
				ハウレンソウ (薬剤処理 58日)	<0.01	46.7 0.06	
H19	日本植物防疫 協会	リゾレックス水和剤 (50%) 1000倍, 1L/株	ピーマン	ハウレンソウ (耕起区)	0.04	16.8 15.8	2
				ハウレンソウ (不耕起)	0.16	13.5 28.0	

※ 後作の土壌中の濃度について、上段：最終散布処理後の濃度、下段：は種時の濃度を示す

表 3-17 農薬の過年度の検出状況（フルトラニル）

年度	測定機関 都道府県	供試農薬名 (有効成分率) 濃度・量	前作物	後作物	後作物の 作物残留濃度 (mg/kg)	土壌中 濃度 (mg/kg)	後作の 残留 基準値 (mg/kg)
H22	日本植物防疫 協会	モンカットフロアブル (40%) 10000 倍～200 倍 3000 L/10a	なし	コマツナ 1/10 濃度	< 0.01	- 0.45	0.01
				コマツナ 1/2 濃度	0.29	- 3.92	
				コマツナ 慣行濃度	1.06	- 8.32	
				コマツナ 5 倍濃度	0.15	- 39.8	
				カブ 1/10 濃度	葉<0.01 根<0.01	- 0.45	0.01
				カブ 1/2 濃度	葉<0.01 根<0.01	- 3.92	
				カブ 慣行濃度	葉 0.02 根 0.02	- 8.32	
				カブ 5 倍濃度	葉 0.09 根 0.07	- 39.8	
				カブ 5 倍濃度	葉 0.09 根 0.07	- 39.8	
H20	日本植物防疫 協会	モンカットフロアブル 40 (40%) 1000 倍 3 L/m ²	裸地	ハウレンソウ (薬剤処理 14 日)	0.02	20.6 8.84	2
				ハウレンソウ (薬剤処理 28 日)	0.04	20.6 6.97	
				ハウレンソウ (薬剤処理 42 日)	0.04	20.6 7.23	
				ハウレンソウ (薬剤処理 58 日)	0.02	20.6 4.7	
H19	日本植物防疫 協会	モンカットフロアブル 40 (40%) 1000 倍 1 L/株	ピーマン	ハウレンソウ (耕起区)	0.09	54.5 60.2	2
				ハウレンソウ (不耕起)	0.25	49.0 72.6	

※ 後作の土壌中の濃度について、上段：最終散布処理後の濃度、下段：は種時の濃度を示す

表 3-18 農薬の過年度の検出状況（プロシミドン）

年度	測定機関 都道府県	供試農薬名 (有効成分率) 濃度・量	前作物	後作物	後作物の 作物残留濃度 (mg/kg)	土壌中 濃度 (mg/kg)	後作の 残留 基準値 (mg/kg)
H22	日本植物防疫 協会	スミレックス水和剤 (50%) 10000 倍～200 倍 300 L/10a	なし	コマツナ 1/10 濃度	0.16	- 0.10	5
				コマツナ 1/2 濃度	0.34	- 0.42	
				コマツナ 慣行濃度	0.63	- 0.73	
				コマツナ 5 倍濃度	0.79	- 3.72	
				カブ 1/10 濃度	葉 0.03 根<0.01	- 0.10	葉 5 根 0.5
				カブ 1/2 濃度	葉 0.11 根<0.01	- 0.42	
				カブ 慣行濃度	葉 0.19 根 0.03	- 0.73	
				カブ 5 倍濃度	葉 0.50 根 0.12	- 3.72	
				カブ 5 倍濃度	葉 0.50 根 0.12	- 3.72	
H22	長野県農業試 験場	スミレックス水和剤 (50%) 1000 倍 300 L/10a	なし	コマツナ 露地	< 0.01	2.8 1.2	5
				ハウレンソウ 露地	0.03	2.8 1.4	3

H22	栃木県 農業試験場	スミレックス水和剤 (50%) 1000倍 300 L/10a	なし	コマツナ 露地	0.11	2.45 3.96	5
				ハウレンソウ 露地	0.03	2.87 3.97	5
H21	埼玉県 農林総合研究 センター	スミレックス水和剤 (50%) 1000倍 100 L/10a	ナス	シュンギク露地 (早期区・マルチ)	0.02	- 0.18	5
				シュンギク露地 (遅延区・マルチ)	0.01	- 0.12	
				シュンギク露地 (遅延区・無被覆)	0.06	- 0.12	
H21	栃木県 農業試験場	スミレックス水和剤 (50%) 2000倍 150 L/10a	トマト	シュンギク施設 (早期区)	0.02	1.19 0.48	5
				シュンギク施設 (遅延区)	0.01	1.19 0.36	

※ 後作の土壤中の濃度について、上段：最終散布処理後の濃度、下段：は種時の濃度を示す

表 3-19 農薬の過年度の検出状況（ホスチアゼート）

年度	測定機関 都道府県	供試農薬名 (有効成分率) 濃度・量	前作物	後作物	後作物の 作物残留濃度 (mg/kg)	土壤中 濃度 (mg/kg)	後作の 残留 基準値 (mg/kg)
H22	岐阜県農業 技術センター	ネマトリンエース粒 剤 (1.5%) 20kg/10a	なし	コマツナ 露地	<0.01	2.66 0.02	0.1
				ハウレンソウ 露地	<0.01		0.1
				カブ 露地	葉<0.01 根<0.01		葉 0.1 根 0.2
H22	埼玉県 農林総合研究 センター	ネマトリンエース粒 剤 (1.5%) 25kg/10a	なし	シュンギク トンネル栽培	0.06*	0.60* 0.02*	0.1
				非結球レタス トンネル栽培	<0.01*	1.38* 0.03*	0.1
H21	奈良県農業 総合センター	ネマトリンエース粒 剤 (1.5%) 20kg/10a +ガードホープ液剤 (30.0%)4000倍 200 L/10a	トマト	キュウリ (耕耘あり)	<0.01	3.090.45	0.2
				キュウリ (耕耘なし)	<0.01	4.24 0.25	
H21	栃木県 農業試験場	ネマトリンエース粒 剤 (1.5%) 20kg/10a	トマト	シュンギク (早期区)	0.08	3.86 0.14	0.1
				シュンギク (遅延区)	0.02	3.86 0.05	
H20	熊本県農業 研究センター	ネマトリン粒剤・ア オバ液剤 (1%、30%) 20kg/10a 4000倍 200 L/10a	メロン	ハウレンソウ (耕耘区)	0.02	2.64 0.29	0.1
				ハウレンソウ (不耕耘)	0.014	2.64 0.29	
H20	高知県農業 技術センター	ネマトリンエース粒 剤 (1.5%) 20kg/10a	キュウリ	メロン	<0.005	- 0.49	0.5
H20	埼玉県 農林総合研究 センター	ネマトリンエース粒 剤 (1.5%) 20kg/10a	ナス	シュンギク (早期区)	<0.01	1.38 0.01	0.1
				シュンギク (遅延区)	<0.01	1.73 0.01	
H18	東京都 農林総合研究 センター	ホスチアゼート粒剤 (1.5%) 20kg/10a	キュウリ	コマツナ	<0.01	- 0.18	0.1
H15	日本植物防衛 協会	ホスチアゼート粒 剤・液剤 (15.3%) 0kg/10a 4000倍・2000 l/10a	なし	メロン	0.042	—	0.2

※ 後作の土壤中の濃度について、上段：最終散布処理後の濃度、下段：は種時の濃度を示す

*：参考データ

表 3-20 農薬の過年度の検出状況（ミクロブタニル）

年度	測定機関 都道府県	供試農薬名 (有効成分率) 濃度・量	前作物	後作物	後作物の 作物残留濃度 (mg/kg)	土壤中 濃度 (mg/kg)	後作の 残留 基準値 (mg/kg)
H21	日本植物防疫 協会	ラリー乳剤 (25.0%) 3000倍 300L/10a	裸地	コマツナ 露地 (薬剤処理 30日)	0.01	0.99 0.28	0.03
				コマツナ 露地 (薬剤処理 58日)	<0.01	0.99 0.20	
				コマツナ 露地 (薬剤処理 90日)	<0.01	0.99 0.14	
				カブ 露地 (薬剤処理 30日)	葉<0.01 根<0.01	0.99 0.28	葉 0.03 根 0.03
				カブ 露地 (薬剤処理 58日)	葉<0.01 根<0.01	0.99 0.20	
				カブ 露地 (薬剤処理 90日)	葉<0.01 根<0.01	0.99 0.14	
H19	高知県農業 技術センター	ラリー水和剤 (10%) 4000倍 300L/10a	キュウリ	メロン	<0.01	- 0.14	1
H18	香川県 農業試験場	ラリー乳剤 (25%) 18.8g /10a	ネギ	リーフレタス	0.005	- 0.13	0.03

※ 後作の土壤中の濃度について、上段：最終散布処理後の濃度、下段：は種時の濃度を示す

表 3-21 農薬の過年度の検出状況（メタラキシル）

年度	測定機関 都道府県	供試農薬名 (有効成分率) 濃度・量	前作物	後作物	後作物の 作物残留濃度 (mg/kg)	土壤中 濃度 (mg/kg)	後作の 残留 基準値 (mg/kg)
H22	熊本県農業 研究センター	リドミルMZ水和剤 (10%) 1000倍×3回 300L /10a	なし	ハウレンソウ 露地	0.01	0.77 0.47	2
				コマツナ 露地	0.02	0.77 0.27	2
				非結球レタス 露地	0.01	0.82 0.32	2
H22	青森県 農林総合研究 センター	リドミルMZ水和剤 (10%) 1000倍 300L/10a	なし	コマツナ	0.07	0.92 0.52	2
				チンゲンサイ	0.04	0.92 0.61	2
				ハウレンソウ	0.01	0.92 0.53	2
H22	宮城県農業・ 園芸総合研究 所	リドミルMZ水和剤 (10%) 1000倍×3回 300L /10a	なし	ハウレンソウ 露地(火山灰)	0.03	0.95 0.94	2
				ハウレンソウ 露地(沖積土)	0.04	0.53 0.39	
				コマツナ 露地(火山灰)	0.02	0.95 0.94	2
				コマツナ 露地(沖積土)	0.25	0.53 0.39	
H22	高知県農業 技術センター	リドミルMZ水和剤 (10%) 1000倍 300L/10a	なし	コマツナ 露地	0.144	0.97 0.38	1
				チンゲンサイ 露地	0.046	0.97 0.38	2
				ハウレンソウ 露地	0.007	0.97 0.38	2
H22	島根県農業技 術センター	リドミルMZ水和剤 (10%) 1000倍 300L/10a	なし	コマツナ	0.06	0.64 0.51	2
				シュンギク	0.13	0.53 0.36	2
				コネギ	<0.01	0.40 0.23	2
				ハウレンソウ	0.02	0.69	2

						0.34	
H22	岐阜県農業 技術センター	リドミル粒剤 (2%) 10kg/10a	なし	コマツナ 露地	0.06	3.56 1.27	1
				ホウレンソウ 露地	<0.01		2
				カブ 露地	葉 0.08 根 0.03		葉 0.3 根 0.3
H21	日本植物防疫 協会	リドミル粒剤 (2%) 20kg/10a	裸地	コマツナ 露地 (薬剤処理 30 日)	0.25	16.6 0.30	2
				コマツナ 露地 (薬剤処理 58 日)	0.13	16.6 0.06	
				コマツナ 露地 (薬剤処理 90 日)	0.03	16.6 0.02	
				カブ 露地 (薬剤処理 30 日)	葉 0.53 根 0.24	16.6 0.30	葉 2 根 2
				カブ 露地 (薬剤処理 58 日)	葉 0.14 根 0.09	16.6 0.06	
				カブ 露地 (薬剤処理 90 日)	葉 0.03 根 0.03	16.6 0.02	
				ミズナ	0.09	1.43 0.55	
H20	日本植物防疫 協会	リドミル粒剤 2 (2%) 20kg/10a	裸地	ホウレンソウ (薬剤処理 14 日)	0.21	21.0 0.85	2
				ホウレンソウ (薬剤処理 28 日)	0.05	21.0 0.32	
				ホウレンソウ (薬剤処理 42 日)	0.02	21.0 0.24	
				ホウレンソウ (薬剤処理 58 日)	0.02	21.0 0.11	
H20	高知県農業 技術センター	リドミルMZ水和剤 (10%) 1000 倍 300 L/10a	キュウリ	メロン	<0.01	- 0.25	1
H20	兵庫県 農林水産技術 総合センター	リドミル粒剤 2 (2%) 9kg/10a	ホウレンソ ウ	葉ダイコン (耕起区)	<0.02	1.72 0.10	2
				葉ダイコン (不耕起)	<0.02	1.72 0.14	
H20	宮城県農業・ 園芸総合研究 所	リドミル粒剤 2 (2%) 6kg/10a	ホウレンソ ウ	コマツナ	<0.01	1.91 0.3	2
H19	日本植物防疫 協会	リドミル粒剤 2 (2%) 3g/株	ピーマン	ホウレンソウ (耕起区)	0.04	7.40 2.52	2
				ホウレンソウ (不耕起)	0.04	6.20 4.34	
H19	香川県 農業試験場	リドミルMZ水和剤 (10%) 1000 倍 300 L/10a	ネギ	ホウレンソウ	0.005	0.847 0.100	2
H18	高知県農業 技術センター	リドミルMZ水和剤 (10%) 1000 倍×3 回 300L/10a	キュウリ	ナス	<0.01	- 0.26	1

※ 後作の土壌中の濃度について、上段：最終散布処理後の濃度、下段：は種時の濃度を示す

要 約

平成 23 年度農薬残留対策総合調査は、都道府県試験研究機関等の協力のもとで、以下の課題について調査が実施された。

- 1) 水質農薬残留に係る調査：4 機関による水田農薬河川モニタリング調査
- 2) 農薬環境負荷解析調査：16 機関による後作物残留実態調査

Summary

IDEA Consultants, Inc. conducted two categories of residual pesticide studies on crop protection products under cooperation with agricultural research administrations in 2011.

- (i) Monitoring studies of pesticides in rivers: Four organizations carried out the monitoring.
- (ii) Environmental fate studies of pesticides in crop land: Sixteen organizations carried out succeeding crop residue studies.

リサイクル適正の表示：紙へリサイクル可

本冊子は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料「Aランク」のみを用いて作製しています。